

絹本着色寂室元光頂相



| | |
|--------|--|
| 指定区分 | 県指定重要文化財(絵画) |
| 読みかた | けんぽんちやくしよくじゃくしつげんこうちんぞう |
| 所在地 | 高梁市頼久寺町 頼久寺 |
| 指定年月日 | 平成3年4月5日 |
| 解説 | この画像は、美作国高田庄(現、真庭市勝山)に生まれ、臨済宗永源寺派の開祖となった寂室元光(1290~1367)の頂相である。寂室元光の弟子で、頼久寺の前身安国寺を開いた霊仲禅永が元光の頂相を描かせ、図上に師の自筆の賛を請うたものである。作者は不明。元光の頂相のうち、自筆の賛をもつのは本図だけである。賛文は傷みが大きい。年記以下を除く本文は「永源寂室語録」の中に収録されている。県下に残る頂相の中では最も古いものであり、美術史上からも極めて貴重である。 |
| アクセス方法 | |
| 公開状況 | 高梁市歴史美術館にて保管 |
| 設備 | |
| 備考 | |